

目標達成計画

事業所名: グループホームら・そしあ

作成日: 平成 26年 3月 17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	平成25年度は、高齢者虐待防止法関連の外部研修に参加できなかった。身体拘束に関する内容を含めた内部研修は実施しているが、禁止の対象となる具体的な行為等が十分に浸透していない。	平成26年度は、高齢者虐待防止法関連の外部研修に職員数名が参加する。また、身体拘束等の内容を含めた内部研修を複数回実施していく。	外部研修に参加した職員が、報告会を兼ね、内部研修を実施する。身体拘束の禁止事項等の具体的な行為についての確認(マニュアル類の作成)とともに、不適切ケア等を考える内部研修を実施していく。	26年度一杯
2	12	平成25年度は、退職者が多く、職員の勤務に負担も生じる状況もあったが、新たに採用された職員も定着しはじめ、ようやく落ち着いてきた。新任・中堅職員共に、研修の機会が少なかった。	平成26年度は、職員の定着のため、適正な評価や職員間の意思疎通をよくするなど、就業環境を整備するとともに、外部・内部研修の積極的な参加等で職員を育てる取り組みを実施していく。	職員会議や管理者との個別面談などで活発な意見交換をしながら就業環境を整備していく。また、経験年数や個々の状況にあわせて、外部研修に参加するとともに、必要な内部研修を実施していく。	26年度一杯
3	35	年に2回の消防訓練は、消防署の指導や町内会住民の協力で開催している。夜勤者がユニットに一人ずつであることを想定し、職員誰もが的確に行動できるよう自主的に訓練する必要がある。また、火災以外の災害についても検討を要する。	夜間を想定し、職員一人ひとりが対応できるよう自主訓練も実施していく。また、火災以外の災害対策についても検討していく。	9月と3月の消防訓練のほか、自主訓練を定期的にも実施していく。火災以外の災害対策についても検討するとともに、食料や防寒の備蓄品等を用意していく。	26年度一杯
4	41	食事については、色彩、盛り付け等を考え、一人ひとりの好みや量、形態などを把握し提供しているが、栄養士がいないため、カロリー等が適切かどうか評価できていない。	メニュー作りをはじめ、実際に食事を提供する際に、量、形態、カロリー等を意識して調理する。栄養士から指導を受ける機会を持つ。	関連事業所の栄養士に依頼し、食事の量やカロリーが適切かどうか指導を受ける。指導を活かした調理を提供していく。	26年度一杯
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。